

令和  
3年度

# 橋梁技術発表会

参加費  
無料定員  
400名申込  
先着順

## 及び 講演会

### —伊藤学賞表彰式—

コロナ対策を考慮して開催いたします。定員変更の可能性があります。

新型コロナウィルスの感染拡大により中止となる可能性があります。

第1部	13:00~13:10	開会の辞	(一社)日本橋梁建設協会 副会長 川畠 篤敬
技術発表	13:10~13:50	① 豊谷大橋の施工報告 ～様々な架設工法が採用された左右非対称な鋼中路式ローゼアーチ橋～	架設小委員会
	13:50~14:00	休憩	
	14:00~14:40	② 疲労に強い鋼床版と取替え鋼床版 ～近年の橋建協の取り組み～	床版小委員会
	14:40~14:50	休憩	
第2部	14:50~15:40	① 受賞者紹介 ② 表彰式 ③ 伊藤学賞受賞者による講演	
伊藤学賞 表彰式	15:40~15:50	休憩	
第3部	15:50~16:50	珍橋・奇橋をかけよう!	
特別講演	16:50~17:00	(公財)東京都道路整備保全公社 道路部橋梁担当課長 アセットマネジメント室長 紅林 章央	
	閉会の辞	橋梁技術発表会 実行委員会 委員長 奥村 恒司	

日時  
令和3年 10月1日(金) 13:00~  
17:00

会場  
銀座ブロッサム(中央会館)ホール  
東京都中央区銀座2-15-6

申し込み  
Webサイト <https://www.jasbc.or.jp/>

受付は令和3年9月1日~9月21日

※申し込みは、Webサイトからのみです。

連絡先  
一般社団法人 日本橋梁建設協会  
〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル9階  
TEL.03-3507-5225

継続教育  
CPDS認定予定

開催地区  
 ● 東京地区: 10月 1日(金) ● 九州地区: 11月 5日(金)  
 ● 大阪地区: 10月13日(水) ● 東北地区: 11月10日(水)  
 ● 北海道地区: 10月29日(金) ● 中部地区: 11月19日(金)

(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

資料配布  
論文及びPPTのpdfは事前にWebサイトに掲載致しますので、必要に応じ出し持参願います。

#### [アクセス]



● 東京メトロ有楽町線「新富町駅1番出口」徒歩1分

● 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線「東銀座駅3-5番出口」徒歩8分

#### [来場時のお願い]

○来場時に検温および体調の確認をさせて頂きます。 ○来場時には、マスクの着用をお願い致します。

○体調不良の場合は、来場を自粛して頂きます様、お願い致します。

## 1 豆谷大橋の施工報告

豆谷大橋は、富山県南砺市利賀村大豆谷地先に位置する鋼中路式ローゼアーチ橋です。利賀ダム建設事業に伴う工事用道路として整備された橋梁であり、ダム完成後は、国道471号のバイパス道路として供用予定です。

架橋地点は山間狭隘部に位置しており、地形および冬期積雪等の制約により、アーチ形式の架設工法として一般的なケーブルエレクション工法の適用が極めて困難でした。また、架設完了まで2ヵ年を要するため、構造系として安定した形で越冬できるように、構造部位毎に異なる架設工法が採用されました。

1ヵ年目の架設は補剛桁の送り出し架設から開始しました。下り勾配4%の送り出し架設となるため、杭アンカーによる逸走防止装置と緊急非常用にキャッキング式のブレーキング装置を別系統で設置して、二重の安全設備で万全の対策を講じました。

## 2 疲労に強い鋼床版と取替え鋼床版

鋼床版は、軽量であり架設期間を短縮できることから、都市内高速道路や長大橋に採用されてきました。しかし、大型車交通量の多い路線の鋼床版から疲労損傷が発見され、疲労対策が必要になってきています。鋼床版の疲労損傷は、1990年代中頃より報告が増加していますが、疲労設計が行われていない橋梁での報告が多く、疲労耐久性向上の余地があると考えられています。本発表では、近年の橋建協の取り組みとして、官学と協力して行っている高耐久化への取り組みを紹介します。

また、近年実施例が増えている既設RC床版の更新工事にも鋼床版が使用される例があります。本発表では、取替え鋼床版のニーズと利点を整理し、調査した取替え鋼床版の事例紹介をすると共に、いくつかの諸元を系統的にまとめ、設計・施工上の特徴や留意点について報告します。

### 特別講演会 講演者紹介

(公財)東京都道路整備保全公社  
道路部橋梁担当課長・アセットマネジメント室長

紅林 章央

講演テーマ

### 珍橋・奇橋を架けよう!

#### 【略歴】

- ◎1985年東京都入都、奥多摩大橋、多摩大橋、ゆりかもめ、中央環状品川線などの建設に携わる。
- ◎元東京都建設局橋梁構造専門課長、2020年より現職。
- ◎『橋を透して見た風景』で、平成29年度土木学会出版文化賞受賞。

#### 【講演概要】

もし、隅田川に架かる橋が全て同じだったら、さぞかし味気ないであろう。  
橋ほど多くの形式がある土木構造物はない。それが創り出す多彩な景観。私は、それこそが、橋が持つ最大の魅力だと思う。  
過去たった1回しか採用されなかった橋梁形式。珍橋・奇橋。必ずしも成功作とはいえない橋達にこそ、技術者の思いや新しい技術が詰まっている。私が撮りためた6,000橋の中から、そんな100橋をご紹介したい。

令和3年度

### 橋梁術発表会

東京地区

10月1日(金)

参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会  
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」  
の申し込みはこちちら。